

## 【 参加団体の成果物 】

### 《日本キャリア・カウンセリング研究会》

- ・最終報告会 発表資料

- ・アクションプラン

- ・ワークシート

# JCC改革アクションプラン2016

～JCC以外の組織でも

JCCのコンセプトやプログラムを活用して、  
ミッションの達成を可能にする活動基盤の再構築へ向けて～

特定非営利活動法人

日本キャリア・カウンセリング研究会（JCC）

タスクチーム／内村敏郎、小澤康司、平 和俊、横山由美子

# JCC改革アクションプラン2016アジェンダ

1. 日本キャリア・カウンセリング研究会
2. 日本キャリア・カウンセリング研究会の沿革
3. JCC改革アクションプラン2016（課題解決策）
4. JCC改革アクションプラン2016（組織の現状と理想）
5. アクションプラン（成果・実績・実行プロセス）
6. アクションプラン承認への実行プロセス（詳細）
  7. Ref.1.問題構造
  8. Ref.2-1.「社会を変える計画」ステートメント
  9. Ref.2-2.「社会を変える計画」ステートメント
  10. Ref.3.既存プロジェクト
  11. Ref.4.組織図（事業部制）
  12. Ref.5.組織図（理事会構造）
  13. Ref.6.会議体系
16. 課題とネクストステップ
17. 半年間の研修の感想

# 日本キャリア・カウンセリング研究会

NPO日本キャリア・カウンセリング研究会（略称：JCC）は、キャリア開発とそれを推進するキャリア・カウンセリングの普及、促進を図ることを目的とするボランティア組織です。

## 基本理念

- 私たちJCC会員は、ワーキングライフ上のキャリア開発に関し、
1. 内的キャリアを重視し、個人主導の意思決定上の支援をする
  2. 個人と組織の新たな共生を追求する
  3. キャリア・カウンセリングの研究・普及・教育などの活動を通じ、個人・組織・社会の変革をファシリテート（促進）する

# 日本キャリア・カウンセリング研究会の沿革

## 沿革

- 1997年 58名の有志で研究会を発足。
- 1998年 第2回大会で理念・綱領を決定。キャリア形成に関する「個人主導の意思決定支援」、「個人と組織の新たな共生追求」、「キャリア・カウンセリングの研究・教育・普及活動を通じての社会貢献」という基本方針を固め、活動の基盤を整備。
- 2000年 特定非営利活動法人（NPO）として東京都より認定。
- 2002年 大会決議により、プロジェクト型組織運営へ移行。
- 2003年 雇用・能力開発機構、キャリア・コンサルタント養成講座、講師派遣開始。
- 2006年 10周年行事として、E・H・シャイン博士講演会・シンポジウムを東京・大阪で開催。
- 2009年 「キャリア開発ワークショップ・CDW®」を商標登録。
- 2012年 プロジェクト活動の一環として開発した内的キャリアを支援するツール、「はたかち®」カードを商標登録。

## 概要

【会員数】 約269人 （2015年7月現在）

【理事】

会長	1名
副会長	3名
事務局長	1名
理事	7名
監事	2名

# JCC改革アクションプラン2016

(タスクチーム：内村、小澤、平、横山)

## 取り組みたい課題テーマ

JCC以外の組織でもJCCのコンセプトやプログラムを活用して、  
ミッションの達成を可能にする活動基盤を再構築する

## 課題解決策

- ① 組織をプロジェクトベースから事業領域別に再編する
- ② 再編された各事業領域で新規プロジェクトを立ち上げ、プログラム企画開発などの活動を継続的に行う
- ③ 理事会において検討し、優先順位に従い予算をつけて開発実施する
- ④ JCC外のお他組織とのネットワーキングを推進する
- ⑤ 理事選出方法を見直し、それに伴い定款を改定する

# JCC改革アクションプラン2016

(タスクチーム：内村、小澤、平、横山)

取り組みたい  
課題テーマ

JCC以外の組織でもJCCのコンセプトやプログラムを活用して、  
ミッションの達成を可能にする活動基盤を再構築する

課題テーマにおける組織の現状

- ① コンセプトやコンテンツはあるし、持っているがプログラムになっていない
- ② また、プログラムを開発しやすい組織にもなっていない
- ③ プログラム開発がプロジェクトベースになっているため、活動負担の多くがプロジェクト・リーダーにかかっている。その結果、開発期間の長期化、手薄なプロモーション、実施上の非効率性や不手際などの問題を招いている
- ④ プログラム開発や実施、さらに実施後のフォローに対する理事会の関与がないため、JCC全体の取り組み・活動であるという意識が低く、継続的な実施やプログラム自体の改善などの活動が起こりにくい
- ⑤ 他の組織とのネットワーキングがないためプログラムの開発が限定的になる傾向がある

課題テーマにおける組織の理想

JCCミッションの達成のためにプログラム開発の必要性が理解され、その作成に取り組みやすい組織になっている。また、JCC理事会の関与のもと、5つの事業領域\*)において必要なプログラム開発が適宜、積極的に実施されている。さらに、関連諸団体とネットワークをつくり、それら協働団体との相互交流を通して情報と人の流動性が高まり、人・組織・情報の刷新が絶えず起こり得る状態になっている。

\*) 学校事業、企業事業、家族事業、共通事業、ネットワーキング

# アクションプラン（成果・実績・実行プロセス）

（タスクチーム：内村、小澤、平、横山）

## 取り組みたい課題テーマ

JCC以外の組織でもJCCのコンセプトやプログラムを活用して、  
ミッションの達成を可能にする活動基盤を再構築する

## 成果・実績

2016年1月25日理事会にて、以上5項目のアクションプランについて理事会承認された

## 実行プロセス

以上5項目のアクションプランについて；

1. 2015年9月以降12月までの計4回の集合研修；
2. 2015年9月以降、2016年1月初旬まで、計10回以上にわたるタスクチーム・ミーティング；および
3. 2016年1月16日（土）、オフサイトでの理事検討会；

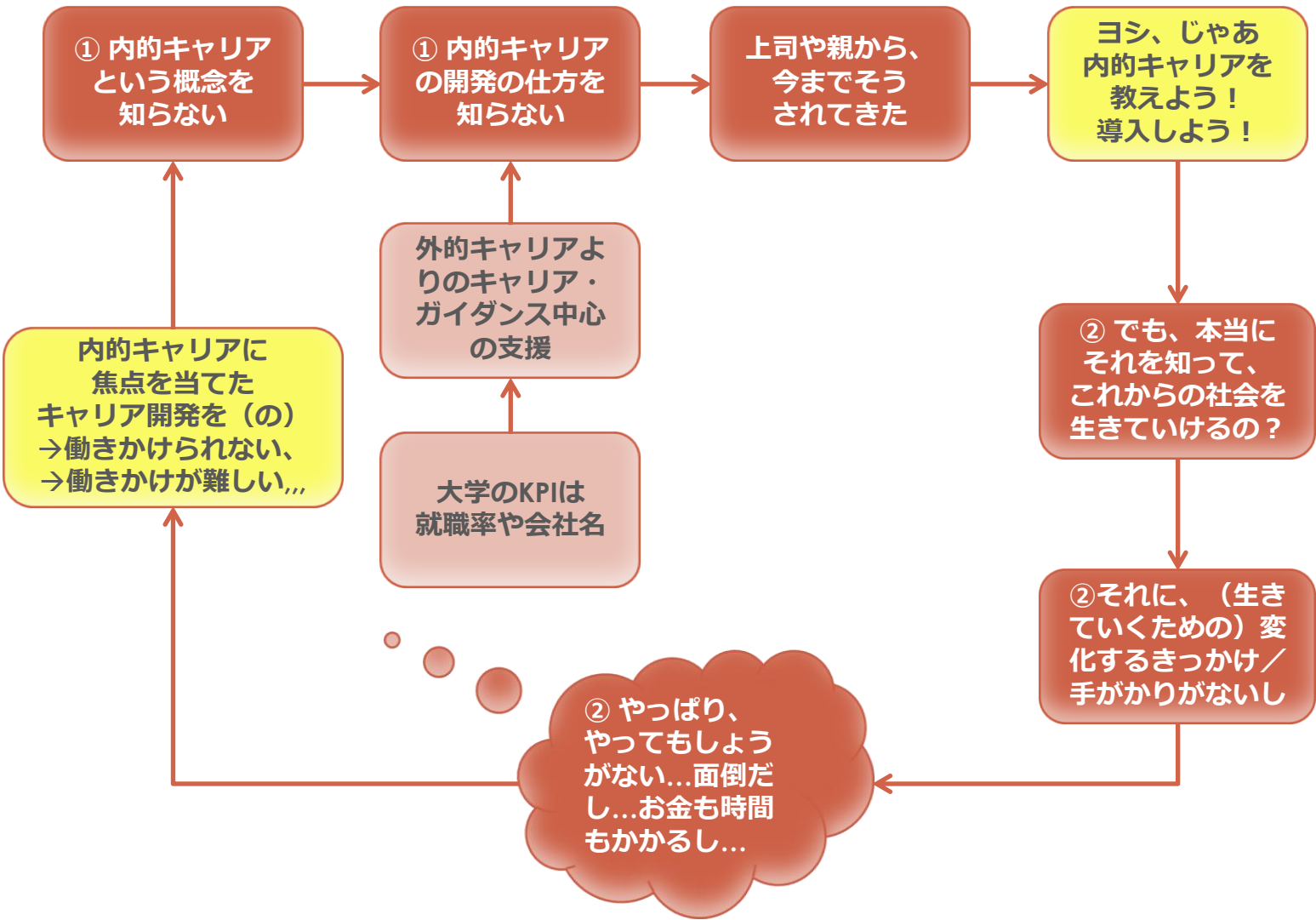
を経て、1月25日の理事会承認に至った



# 実行プロセス（詳細）

1. JCCは、社会に何を残したいのか？について；
  - 問題構造を検討し（Ref.1.問題構造）；
  - ミッションステートメント「社会を変える計画」を策定し（Ref.2.「社会を変える計画」ステートメント）；
  - 5つの事業領域（学校、企業、家族、共通、ネットワーキング）のアイデアを創出した（Ref.3.既存プロジェクト一覧、Ref.4.組織図（事業部制）の提案）
- 2.理事会構造を検討し提案した；
  - 重要事項に対する迅速な意思決定を可能にする理事会構造（Ref.5.組織図（理事会構造）、Ref.6.会議体系）

# Ref.1.問題構造



# Ref.2-1. 「社会を変える計画」 ステートメント

私たちが実現したいのは

A: キャリアを開発しようとする人、それを支援しようとしている人、それらすべての人が、その人らしく生きる・働く

という社会です。

しかし、

B: それらの人が、外的キャリアと内的キャリアの統合を  
①「知らない」②「受け入れられない」③「深められない」こと  
によって、自分らしく生きられず・働けない

という構造になっていて

実現できていません。

これを解決するためには、行政・企業・他NPOなどの他組織と役割分担し、

私たちは

C: 「専門性」「キャリア開発の実績」「保有資金」

という強みを活かし

D: 1)学校（主として大学（高校）のキャリアセンター職員、非正規キャリア・アドバイザー、教員、加えて学生）対象の支援事業；2)企業（主として中小企業のオーナー、大企業管理職、社員）対象の支援事業；3)家族（親、子（学生））対象の支援事業；4) 共通事業（CDW, はたかち等）；5) および、JCCと他団体との協働を推進するネットワーキング活動

という事業・活動をすることで、問題解決に最も貢献することができると考えています。

だから私たちは  
を実現します。

D: 1)学校（主として大学（高校）のキャリアセンター職員、非正規キャリア・アドバイザー、教員、加えて学生）対象の支援事業；2)企業（主として中小企業のオーナー、大企業管理職、社員）対象の支援事業；3)家族（親、子（学生））対象の支援事業；4) 共通事業（CDW, はたかち等）；5) および、JCCと他団体との協働を推進するネットワーキング活動を

することで

A: キャリアを開発しようとする人、それを支援しようとしている人、それらすべての人が、その人らしく生きる・働ける社会

# Ref.2-2. 「社会を変える計画」 ステートメント

## A (存在理由)

キャリアを開発しようとする人、それを支援しようとしている人、それらすべての人が、その人らしく生きる・働く社会を実現する

## B (問題構造) :

キャリアを開発しようとする人が、内的キャリアと外的キャリアの統合を①「知らない」②「受け入れられない」③「深められない」ことによって、自分らしく生きられず・働けない

## C (役割定義) :

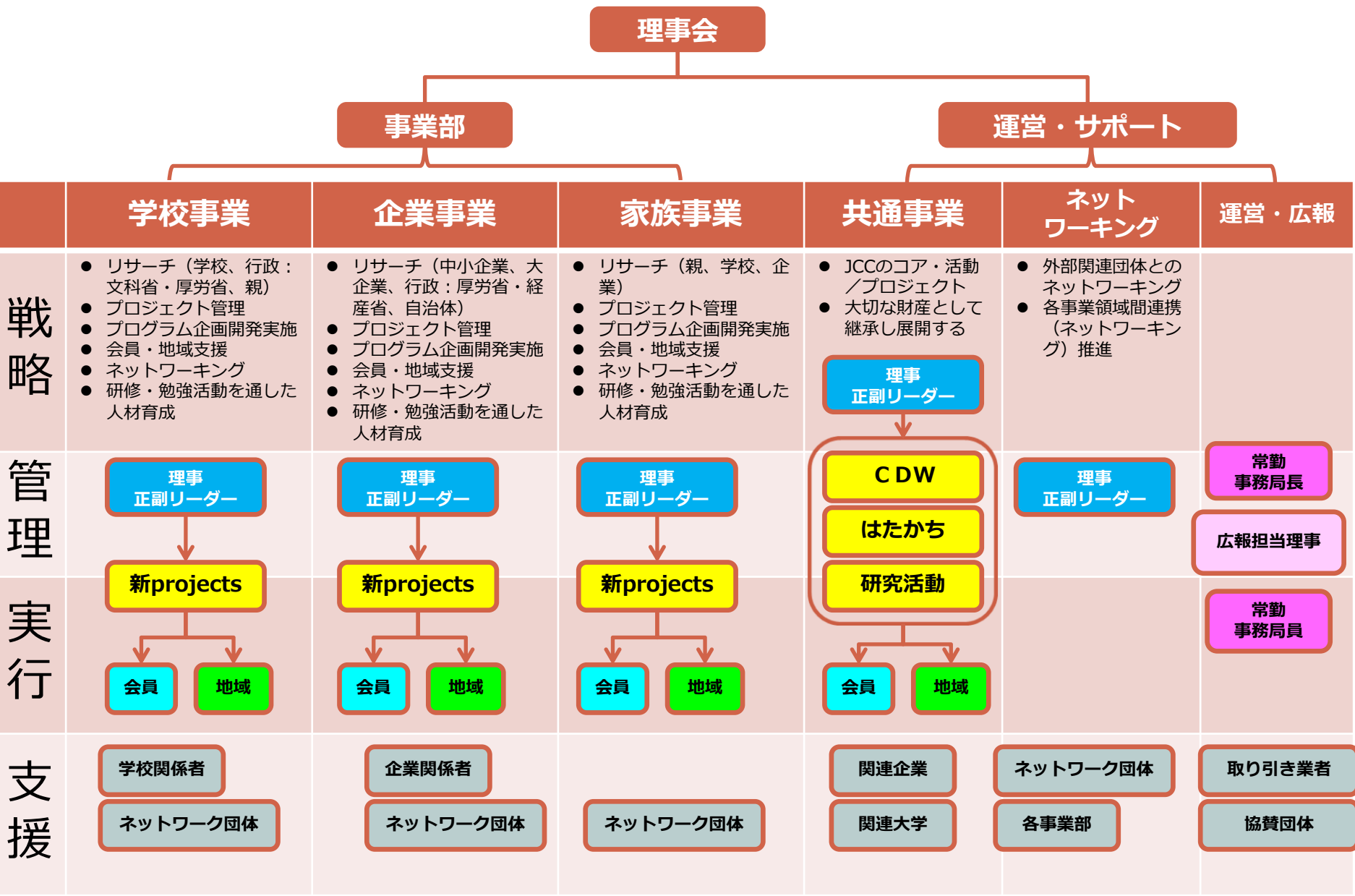
「専門性」 「キャリア開発の実績」 「保有資金」

D (問題解決仮説) : 1)学校 (主として大学 (高校) のキャリアセンター職員、非正規キャリア・アドバイザー、教員、加えて学生) 対象の支援事業 ; 2)企業 (主として中小企業のオーナー、大企業管理職、社員) 対象の支援事業 ; 3)家族 (親、子 (学生) ) 対象の支援事業 ; 4) 共通事業 (CDW, はたかち等) ; 5) および、JCCと他団体との協働を推進するネット・ワーキング活動

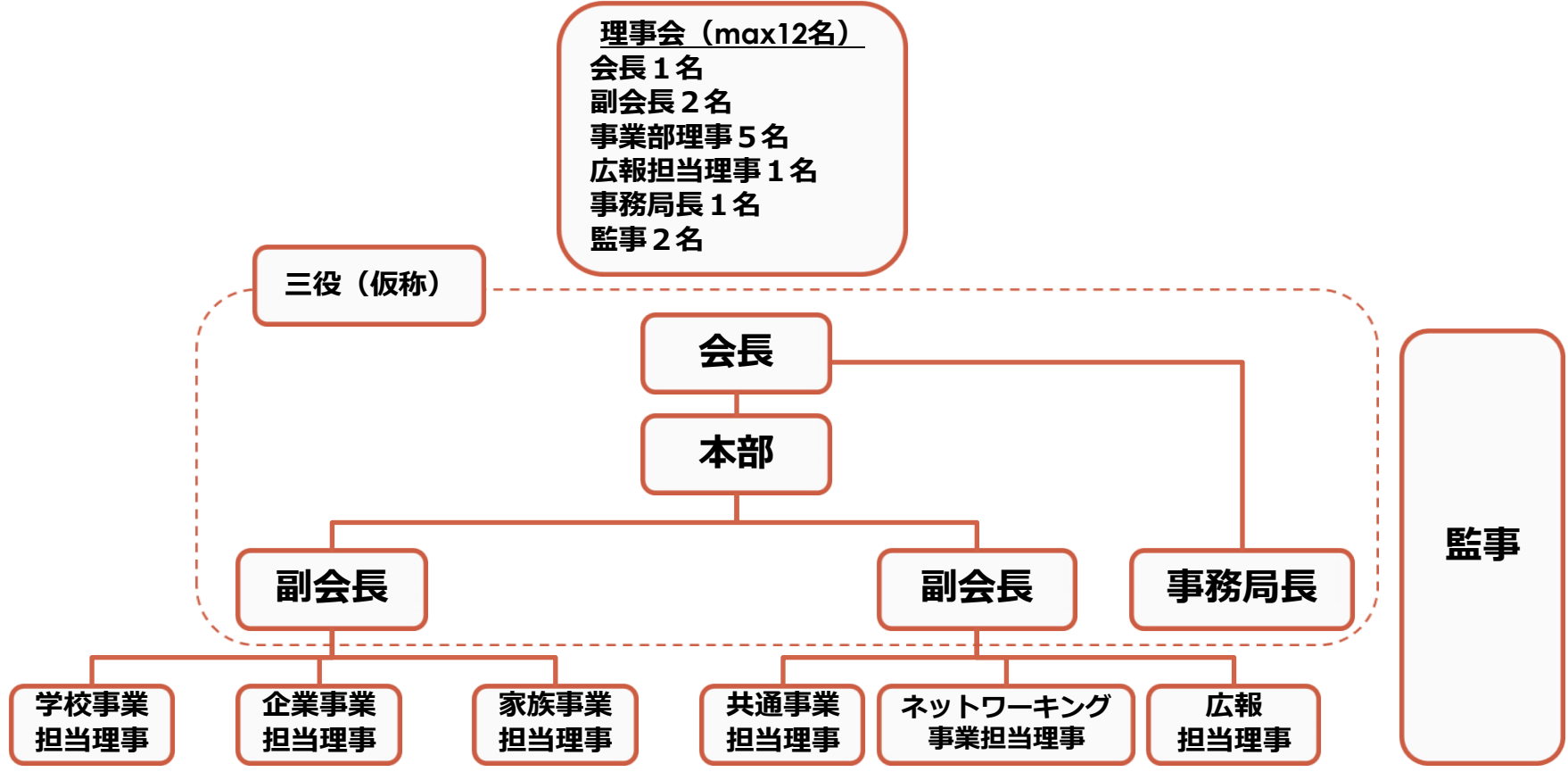
# Ref.3.既存プロジェクト

プロジェクト名	活動目的
研修・勉強会	会員および一般向けに、キャリア開発、キャリア・カウンセリングに関連する領域における理解の促進と、キャリア・カウンセラーの資質向上を支援するため、各種研修会・勉強会の企画立案、実施運営を行ないます
CDWディビジョン	CDWは「キャリア開発ワークショップ」の略称で、キャリアとは何か、キャリア開発をどう進めるかを考える「場」です。JCCの理念を具現化する有力な方法の一つと捉え、普及活動をしています。企業、自治体、学校などで実施する際には、ファシリテーターを派遣し企画段階からの支援にも対応しています
キャリア・カウンセリング	JCC会員のキャリア・カウンセリングの能力向上に役立てるため、個人およびグループに対する“スーパービジョン”を実施し、関連する学習会を企画します
キャリア・ガイダンス	内的キャリアの考察を基盤にして外的キャリアに寄与する具体的、現実的なキャリア・ガイダンスを模索します
アセスメント研究	キャリア・カウンセリング、キャリア開発支援にあたって、アセスメントの勉強、活用は欠かせないもので、このテーマに関心を持つ人がお互いに勉強する機会を持ちたいと思います。2か月に1回会合を予定
学校期のキャリア教育	内的キャリアに裏づけられたキャリア教育の研究・実践を、教師とともに模索・展開し、子どもの成長（キャリア発達）の支援と、地域社会に広がるキャリア・インフラの整備・充実・質的革新を研究し実践します
女性のキャリア開発支援	女性のワーキングライフ上のキャリア開発に関し、JCCの基本理念に基づく支援及び男女共同参画社会の実現に向けての意識改革をファシリテートすることを目指します
組織へのキャリア開発支援	“組織”と“組織の中で働く個人”のキャリア開発を、「内的キャリアの明確化」という視点から実践的に支援することで、個人と組織の新たな共生関係の構築に貢献します 1) “組織”と“組織の中で働く個人”のキャリア開発を支援するための制度やプログラムに関する調査研究・普及展開 2) 「内的キャリアと積極的傾聴講座」の講座実施と講師養成
WORK語り合い	学生や若年社会人のキャリア開発支援を目的としたグループワーク「WORK語り合い」( <a href="http://work-katariai.com">http://work-katariai.com</a> )を開催しています。また、内的キャリア自覚を深めるツール「働く上での価値観を探るカード『はたかち』®」を開発しました。カードを利用できる「はたかちフレンズ」の養成講座を実施しています。さらに活用するためのオプションカードも開発しています
地域ユニット	JCCが地域に活動を展開するため、地域会員がユニットを結成し活動するための企画・運営を支援し、地域における会員の増員を目的とします
活発	JCCの活動を、会報をはじめパンフレットや小冊子、書籍などを活字で発信するプロジェクト（活字で発信を略して活発）。研究会内外への情報発信のセンターです
変化への対話的アプローチ	新しい気づきをもたらす生成的な対話（会話およびダイアログ）とは何かについて、最先端の理論とその実践法を学びます。更にはその成果を、ワークショップやセミナーの形で、広く会員および一般の方々へ発信します
ILPコミュニティー	サニー・S・ハンセン博士が提唱する「統合的ライフ・プランニング（ILP）」を学び、JCC内外へ向けてILPの普及実践活動を推進します
関西	一つのことに特化したプロジェクトではなく【働く人、これから働こうとする人のための内的キャリアを育む】ことを目的に、広く様々な視点から必要な活動を行って行きます。そのために、会員参加型の共に育つことのできる人間集団として、共に問題意識を共有し、考え、必要とすることを企画開発して行きます。若者のJCC会員を増やすことを当面の目標として、関連する方々の為の勉強会や企画立案をしていきます
東北	JCCの考え方に基づいたキャリアの概念を東北に広める活動を、特定の対象を問わず行っていきたいと考えています。内的キャリアを軸とした個人主導型の成長促進（キャリア開発）と、組織の発展がつながることを理解していただく機会を増やし、個人、組織、地域などと連携した人材育成につなげるための取り組みとして、関連する方々との情報交換の場、学びの場の場等を定期的に開催していこうと考えています

# Ref.4.組織図 (事業部制)



# Ref.5.組織図 (理事会構造)



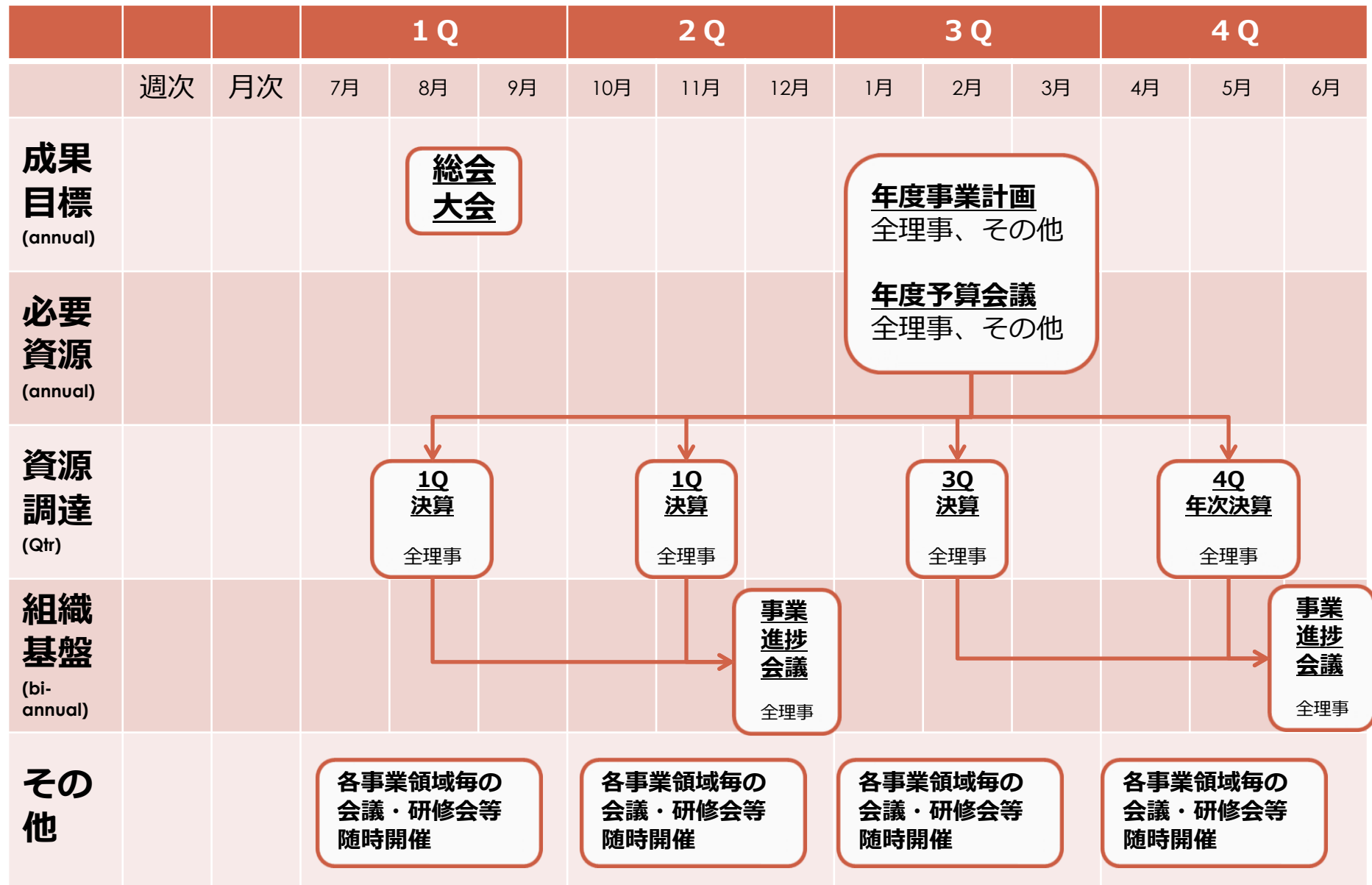
**決定事項**

1. 緊急の決定事項については三役（会長、副会長、事務局長）会議（仮称）を適宜開催し事に当たる（その際、必要に応じて担当理事が加わる場合もある）
2. 理事会とは、事業部長を理事とした理事全体の会議である  
 ※各事業部における決済基準を制定する  
 ※各事業部責任での決定事項については、人材育成の視点\*)を前提とする  
 \*) 理事の役割を担うことができる人材（プロジェクト参加による研修・勉強やリーダー役割の体験、JCCマネジメントの一端を担う等々）を育成しようとする視点

**検討事項**

1. 理事任期 2～3年
2. 再任 2期
3. 各事業部で育成計画を作り次期リーダー（理事）を育成する

# Ref.6.会議体系





# 課題とネクストステップ

## 以下の課題に取り組み、2017年1月より新体制を開始する：

1. 会員へのコミュニケーション開始（説明、共有、協力要請）（a.s.a.p.）
2. 理事会承認項目を実現するための行動計画の策定（by Sep.'16/E）
3. 早期に実行可能なアクション項目への取り組み開始（fr. Mar.'16）
  - i. 内的キャリアワークブックの開発（学校事業）；
  - ii. ILPプログラムの開発（学校、企業、家族）；
  - iii. 連携（ネットワーキング）の合意と交渉開始；
  - iv. キャリア・サミット東京準備開始など）；
  - v. 他団体とのネットワーク作り開始
4. 理事改選（選任）方法の決定と理事改選実施（改革案の実施に際しての質的、量的な人材の確保および育成）（by Sep.'16/B）
5. 各事業部における事業計画とJCC全体の予算計画の策定（by Dec.'16/E）

# 半年間の研修の感想

- 参加してよかった！！
- 正直言って、しんどかった（時間的、内容的、作業的、内部調整,,,）、そして、やってよかった！
- 改革のスタート地点に着くことができた。実感を持てた
- 研修プログラムは、信頼できる論理的構造、変革の枠組みを提供し、ファシリテータの方々の実践実例で裏づけられていた
- 信頼感、安心感を持って研修プログラムに集中することができた
- システムティックに考えることで、問題点を広く深く洗い出すことができた
- 理事会の意識を改革の方向へ向けさせることができた
- 改革案策定－討議検討－承認－結果の共有－（実行）に対するコミットメントのサイクルを回すことができた
- 他のNPO団体との話し合いの場を持つことができてよかった

組織名： JCC  
 記入者： 小澤、内村、横山、平

日付： 2016年1月22日

①課題テーマ

取り組みたい 課題テーマ	JCC以外の組織でもJCCのコンセプトやプログラムを活用して、ミッションの達成を可能にする活動基盤を再構築する
-----------------	---

②課題テーマにおける組織の現状と理想

現状 ※できるだけ具体的に起きている事象を書いてください
①コンセプトやコンテンツはあるし、持っているがプログラムになっていない。 ②また、プログラムを開発しやすい組織にもなっていない ③プログラム開発がプロジェクトベースになっているため、活動負担の多くがプロジェクト・リーダーにかかっている。その結果、開発期間の長期化、手薄なプロモーション、実施上の非効率性や不手際などの問題を招いている ④プログラム開発や実施、さらに実施後のフォローに対する理事会の関与がないため、JCC全体の取り組み・活動であるという意識が低く、継続的な実施やプログラム自体の改善などの活動が起こりにくい ⑤他の組織とのネットワーキングがないためプログラムの開発が限定的になる傾向がある

理想
JCCミッションの達成のためにプログラム開発の必要性が理解され、その作成に取り組みやすい組織になっている。また、JCC理事会の関与のもと、5つの事業領域 <sup>*</sup> )において必要なプログラム開発が適宜、積極的に実施されている。さらに、関連諸団体とネットワークをつくり、それら協働団体との相互交流を通して情報と人の流動性が高まり、人・組織・情報の刷新が絶えず起こり得る状態になっている。 *) 学校事業、企業事業、家族事業、共通事業、ネットワーキング

③課題解決施策

現状と理想のギャップを埋める施策
組織をプロジェクトベースから事業領域別に再編し、プログラムの開発およびJCCのマネジメントを実行しやすくする（現行のプロジェクトは一旦解散とする） 再編された各事業領域で新規プロジェクトを立ち上げ、会員有志を巻き込んだプロジェクトミーティングを開き、アイデアを出し、コンテンツを共有し、プログラム企画開発などの活動を継続的に行う 各事業領域で出されたアイデアや活動の企画は、理事会において検討された後に、優先順位に従い、予算をつけて開発実施される 他の組織とのネットワーキングを通して、より効果的なプログラムを開発し、顧客の開拓につなげていく 理事選出方法を見直し、機能する理事会を構成し、上記をサポートする。それにとまじり、定款を改定する

④アクションプラン (as of Jan.22, 2016 to be revised as appropriate)

タスク名	担当者	11月				12月				1月				2月				3月			
		1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W	1 W	2 W	3 W	4 W
①研修参加・タスクチームミーティング・理事会開催	タスクチーム		7チーム	14チーム	21チーム	30理事会	9NPO		21理事会		16特選理事会	25理事会	9NPO				23理事会				17理事会
②組織体制の再編（各会合時の点検項目）	タスクチーム/理事会	①ビジョン策定 ②ビジョン共有 ③権限付与	タスクメンバー 合意	npo会議報告	組織改編、理事 選入報告案作成	理事への中間報告:JCCの問題と課題、変革の必要性、事業部制組織へ改編、理事公募制検討、アクションプラン 中間発表@npo		新体制の提案・承認 事業部制組織と理事公募制		オープンディスカッション/新体制 下における具体的な事業計画を中心 とした討議		事業計画の提案・承認下記A,B,C,D 今後の進め方についての具体的なスケジュールの提案と承認				npo支援プログラム最終発表の報告/新組織体制への意向/理事公募制導入の最終確認と承認/新体制・JCC再生へ向けての合意と理事会のコミットメント					
③理事公募改革策定/実施	タスクチーム/理事会												▽								▽
④A: 内的キャリアワークブックの開発（学校事業向け）	編成プロジェクト																▽				▽
④B: ILPプログラムの開発（学校、企業、家族向け）	編成プロジェクト																▽				▽
④C: 連携の合意と交渉開始（注）	ネットワーキング・チーム																▽				▽
④D: キャリア・サミット東京	ネットワーキング・チーム																▽				▽
⑤Internal communication by media mix（理事/会員）	タスクチーム								理事会メンバーへの（現状、改革の理由、改革無き場合のリスク、今後の施策等々）が理解され、合意形成、承認が得られる）コミュニケーション				▽				会員への（現状、改革の理由、改革無き場合のリスク、今後の施策等々）が理解され、会員のいね！がもらえるような）コミュニケーション				▽

注) 例えば、キーン・パースンズ21(朝山さん)、学生団体リアライズ(下さん)、キャリア・コンサルティング協議会、GEWELなど

# 「社会を変える計画」ステートメント



私たちが実現したいのは **A** という社会です。

しかし、**B** という構造になっていて実現できていません。

これを解決するためには、  
行政・企業・他NPOなどの他組織と役割分担し、

私たちは **C** という強みを活かし **D** という  
事業・活動をすることで、問題解決に最も貢献することができる  
と考えています。

だから私たちは **D** することで **A** を実現します。

# 「社会を変える計画」 ステートメント

## A (存在理由)

キャリアを開発しようとする人、それを支援しようとしている人、それらすべての人が、その人らしく生きる・働く社会を実現する

## B (問題構造) :

キャリアを開発しようとする人が、内的キャリアと外的キャリアの統合を①「知らない」②「受け入れられない」③「深められない」ことによって、自分らしく生きられず・働けない

## C (役割定義) :

「専門性」 「キャリア開発の実績」 「保有資金」

D (問題解決仮説) : 1)学校 (主として大学 (高校) のキャリアセンター職員、非正規キャリア・アドバイザー、教員、加えて学生) 対象の支援事業 ; 2)企業 (主として中小企業のオーナー、大企業管理職、社員) 対象の支援事業 ; 3)家族 (親、子 (学生) ) 対象の支援事業 ; 4) 共通事業 (CDW, はたかち等) ; 5) および、JCCと他団体との協働を推進するネット・ワーキング活動

# 「事業計画方針」シート

【方針メッセージ】問題解決モデルが見えて来たのでその検証のために、プロジェクトベースの既存事業を大学、企業、家庭への3事業領域に再編成する。それに対する追加投資及び収入増加施策も検討済みであるが、不確定要素もあるため2016年度末に見直しを行う。赤字になるが初期投資を終わった2017年度からは黒字に転換できる。2016年度の収入を維持するのがキーである。

	前年比	重要指標		計画達成するための重要ポイント
		現状 (2015年度)	計画 (2016年度)	
成果目標 社会的成果	↑	①大学とのキャリア講師契約人数0、導入大学0 ②キャリアセンター職員への研修会0 ③JCC、企業、学生、大学の4者による意見交換会0 ④企業へのキャリア開発研修実施のための講師養成研修0	①大学とのキャリア講師契約人数4人、導入大学2校 ②キャリアセンター職員への研修会6回 ③4社意見交換会1回 ④企業へのキャリア開発研修実施のための講師養成研修3回	①プロジェクト型事業組織・体制の解体と再編成 ・機能型組織 ・PDCAサイクルの確立 ・人員のアサインメント ・報酬制度の導入 ②大学及び企業に対するリサーチ／営業活動の実施 ③他団体とのコラボレーション ④家族（親）へのJCC認知度の向上
資源調達 収入	↑	1,140万円	1,400万円	①大学でのキャリア教育講師の育成、キャリアセンターでの研修会、キャリア・サミットの実施等で事業収入を伸ばす ②大企業管理職及び中小企業のオーナーに対する新規開拓を伸ばして行く（研修は2017年から開始する） ③ネットワーキング等の新たな取り組みを始めて行くことにより、会員の減少傾向をくい止め、会費収入の維持を図る
必要資源 支出	↑	1,250万円	1,680万円	①企業向け研修会のためのコンテンツ作りを工夫しながら出来るだけ支出を減らす

# 「組織図」シート

組織  
基盤

理事会

事業部

運営・サポート

学校事業

企業事業

家族事業

共通事業

ネット  
ワーキング

運営・広報

戦略

- リサーチ（学校、行政：文科省・厚労省、親）
- プロジェクトベースのプログラム企画開発実施
- 会員・地域支援
- 研修・勉強活動を通じた人材育成
- 事業部間、外部諸団体とのネットワーキング

- リサーチ（中小企業、大企業、行政：厚労省・経産省、自治体）
- プロジェクトベースのプログラム企画開発実施
- 会員・地域支援
- 研修・勉強活動を通じた人材育成
- 事業部間、外部諸団体とのネットワーキング

- リサーチ（親、学校、企業）
- プロジェクトベースのプログラム企画開発実施
- 会員・地域支援
- 研修・勉強活動を通じた人材育成
- 事業部間、外部諸団体とのネットワーキング

- JCCのコア・プロジェクト/活動
- JCCの大切な財産として継承し展開
- 活動の「見える化」

- 外部関連諸団体との協働（人、情報、活動の交流）推進
- 各事業領域間連携推進

管理

理事

理事

理事

理事

CDW

はたかち®

その他活動

研究活動

理事

常勤  
事務局長

広報担当理事

新プロジェクト

新プロジェクト

新プロジェクト

新プロジェクト

常勤  
事務局長

実行

会員

地域

会員

地域

会員

地域

会員

地域

会員

地域

支援

学校関係者

企業関係者

関連企業

ネットワーク団体

取り引き業者

ネットワーク団体

ネットワーク団体

ネットワーク団体

関連大学

各事業部

協賛団体

# 「組織図」シート

組織  
基盤

理事会

事業部

運営・サポート

学校事業

企業事業

家族事業

共通事業

ネット  
ワーキング

運営・広報

戦略

- リサーチ（学校、行政：文科省・厚労省、親）
- プロジェクト管理
- プログラム企画開発実施
- 会員・地域支援
- ネットワーキング
- 研修・勉強活動を通じた人材育成

- リサーチ（中小企業、大企業、行政：厚労省・経産省、自治体）
- プロジェクト管理
- プログラム企画開発実施
- 会員・地域支援
- ネットワーキング
- 研修・勉強活動を通じた人材育成

- リサーチ（親、学校、企業）
- プロジェクト管理
- プログラム企画開発実施
- 会員・地域支援
- ネットワーキング
- 研修・勉強活動を通じた人材育成

- JCCのコア・活動／プロジェクト
- 大切な財産として継承し展開する

- 外部関連団体とのネットワーキング
- 各事業領域間連携（ネットワーキング）推進

理事  
正副リーダー

CDW

はたかち

研究活動

理事  
正副リーダー

常勤  
事務局長

広報担当理事

常勤  
事務局長

管理

理事  
正副リーダー

新projects

会員

地域

理事  
正副リーダー

新projects

会員

地域

理事  
正副リーダー

新projects

会員

地域

会員

地域

実行

学校関係者

ネットワーク団体

企業関係者

ネットワーク団体

ネットワーク団体

関連企業

関連大学

ネットワーク団体

各事業部

取り引き業者

協賛団体

支援



# 「会議体系」シート

カイゼン

		1 Q			2 Q			3 Q			4 Q		
		7月 ⇒1月	8月 ⇒2月	9月 ⇒3月	10月 ⇒4月	11月 ⇒5月	12月 ⇒6月	1月 ⇒7月	2月 ⇒8月	3月 ⇒9月	4月 ⇒10月	5月 ⇒11月	6月 ⇒12月
成果 目標 (annual)		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>総会 大会</b> </div>						<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <b>年度事業計画</b> 全理事、その他                 </div>					
必要 資源 (annual)								<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <b>年度予算会議</b> 全理事、その他                 </div>					
資源 調達 (Qtr)		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>1Q 決算</b> 全理事                 </div>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>1Q 決算</b> 全理事                 </div>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>3Q 決算</b> 全理事                 </div>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>4Q 年次決算</b> 全理事                 </div>		
組織 基盤 (bi- annual)					<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>事業 進捗 会議</b> 全理事                 </div>						<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;"> <b>事業 進捗 会議</b> 全理事                 </div>		
その 他		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                     各事業領域毎の 会議・研修会等 随時開催                 </div>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                     各事業領域毎の 会議・研修会等 随時開催                 </div>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                     各事業領域毎の 会議・研修会等 随時開催                 </div>			<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; text-align: center;">                     各事業領域毎の 会議・研修会等 随時開催                 </div>		